



2018年1月31日
ミニストップ株式会社
(証券コード 9946)

各 位

お客さまの利便性向上を目指し 電子レシートの社会インフラ化実証実験へ参加

ミニストップ株式会社(本社:千葉県千葉市 代表取締役社長:藤本 明裕、以下:ミニストップ)は、このたび、東芝テック株式会社(本社:東京都品川区 代表取締役社長:池田 隆之、以下:東芝テック)が受託した、経済産業省および国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEDOの「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」の一環として、町田市内のミニストップ店舗(2018年1月31日現在:9店)において、2018年2月13日から2月28日まで実施する、電子レシートの標準データフォーマットおよびAPIに対応した電子レシートプラットフォームの実証実験に参画いたします。また、実証実験期間中、実証実験に参加しアンケートに答えると、先着2,000名さまに300ポイントをプレゼントする「お買物キャンペーン」を実施いたします。

ミニストップは、お客さまの利便性向上を図るため、今回の実証実験に参画いたします。お客さまの購買情報を生かし、お客さまニーズを捉えた個店の品揃え強化へつなげてまいります。

本実証実験では、経済産業省が策定する電子レシートの標準規格の検証作業として、業種、業態の異なる小売店舗における、標準化された電子レシートプラットフォームの有効性を検証します。今回、標準フォーマットに準拠して東芝テックが開発した標準データフォーマットおよびAPIを採用することで、従来個別に開発され利用されている各社の電子レシートシステムや電子レシートを活用するアプリケーションが、企業の垣根を越えて連携できるようになります。

電子レシートの標準プラットフォーム化により、家計簿ソフトや健康管理ソフトなどのさまざまなアプリケーションで電子レシートデータを簡単に活用することができるようになるため、消費者や企業にとって利便性の高い社会インフラの構築が可能になります。

昨今の多様化したお客さまの嗜好やニーズに対応する手段のひとつとして、レシートの電子化が期待されています。レシートを電子化し、お客さま一人ひとりが電子レシートを蓄積することができるインフラを構築することができれば、個人の買いまわりの状況までを見通すことができるようになります。当該データは、小売店舗の枠を超えた個人の消費内容を指し示す貴重な情報となるため、当該個人が起点となって電子レシートデータを提供することができれば、正確な消費者理解に基づく商品開発やサービス提供につなげていくことができます。

ミニストップは、今回の実証実験に参画することで、お客さまにとってより利便性の高い社会インフラの構築を目指してまいります。





本実証実験では、個人を起点とした購買履歴の流通による消費者理解の向上を目的として、以下の内容の事業を実施します。

【実証実験の内容】 ミニストップは、「1」「2」「3」「5」に該当します。

1. 同一商圈内の業種業態の異なる複数店舗に電子レシートを導入し、お客さまがどの店舗で買物をしても、標準フォーマット・標準APIを利用した電子レシートを受け取ることができます。
2. お客さまが自身の判断で電子レシートデータ提供の意思決定を行い、データ提供を行った際には、家計管理、健康管理アプリケーションなどのサービスが便利に利用できます。
3. お客さまが提供するデータは、お客さま自らの設定により提供データがマスク処理されるため、お客さまの意に沿わないデータ流出を防止します。
4. 気象データや実店舗のセンサーデータなどのさまざまなIoTデータを収集(Azure IoT Hubを使用)して、電子レシートデータと組み合わせて分析できる環境を提供します。
5. 電子レシートを利用した各種サービスの提供やデータの活用を目指す企業においては、電子レシートの標準データフォーマットおよび標準APIに対応することで、さまざまなサービスを効率的に構築することができます。

【電子レシート実証実験 ミニストップ参加店舗】

店舗名	住所
町田小川店	町田市小川六丁目13番7号
町田和光学園前店	町田市真光寺町字1339-5
町田忠生店	町田市忠生2-1-1
町田根岸店	町田市根岸町1001番地26
町田小山ヶ丘店	町田市小山ヶ丘1丁目3-1
町田旭町店	町田市旭町1-25-16
町田街道旭店	町田市旭町1丁目20番地15
町田小川2丁目店	町田市小川2丁目27-1
町田山崎団地店	町田市山崎町1314番1

※2018年2月1日(木)開店予定の「町田市役所店」は、実証実験店舗には含まれません

【お買物キャンペーンに関して】

実施期間:2018年2月13日(火)~2018年2月28日(水)

実証実験期間中、実証実験に参加してアンケートに答えると、先着2,000名さまに、300ポイントをプレゼントします。アプリ内で、WAON POINTカードをはじめとする対象ポイントカードより、お客さまご自身で利用したいカードを選択し登録します。





<実証実験の概要>

■期間:2018年2月13日から2018年2月28日 実施時間:各店舗の営業時間

■場所:東京都町田市内の参加企業店舗

■参加企業/団体

- ・委託事業者:東芝テック株式会社
- ・店舗協力 :ミニストップ株式会社
ウエルシア薬局株式会社
株式会社ココカラファイン
株式会社東急ハンズ
株式会社三徳
株式会社銀座コージーコーナー
- ・システム協力:富士通株式会社
株式会社ヴィンクス
株式会社ソリマチ技研
株式会社ジャストプランニング
株式会社インテージ
株式会社NTTデータCCS
- ・クラウド/IoT:日本マイクロソフト株式会社
日本ユニシス株式会社
東京エレクトロンデバイス株式会社
- ・スマホアプリ:株式会社マネーフォワード
大日本印刷株式会社
アドウェル株式会社
クラウドキャスト株式会社
LINE株式会社
グランドデザイン株式会社
- ・協力企業 :トライアルホールディングス株式会社
株式会社KDDI総合研究所
アイレット株式会社
- ・協力団体 :. NET流通システム協議会
一般社団法人オープン・フードサービス・システム・コンソーシアム
一般社団法人XBRL Japan
一般社団法人Fintech協会
町田市

■主催:経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 消費・流通政策課

■目的:個人を起点とした購買履歴の活用による消費者理解の向上に向けた課題整理

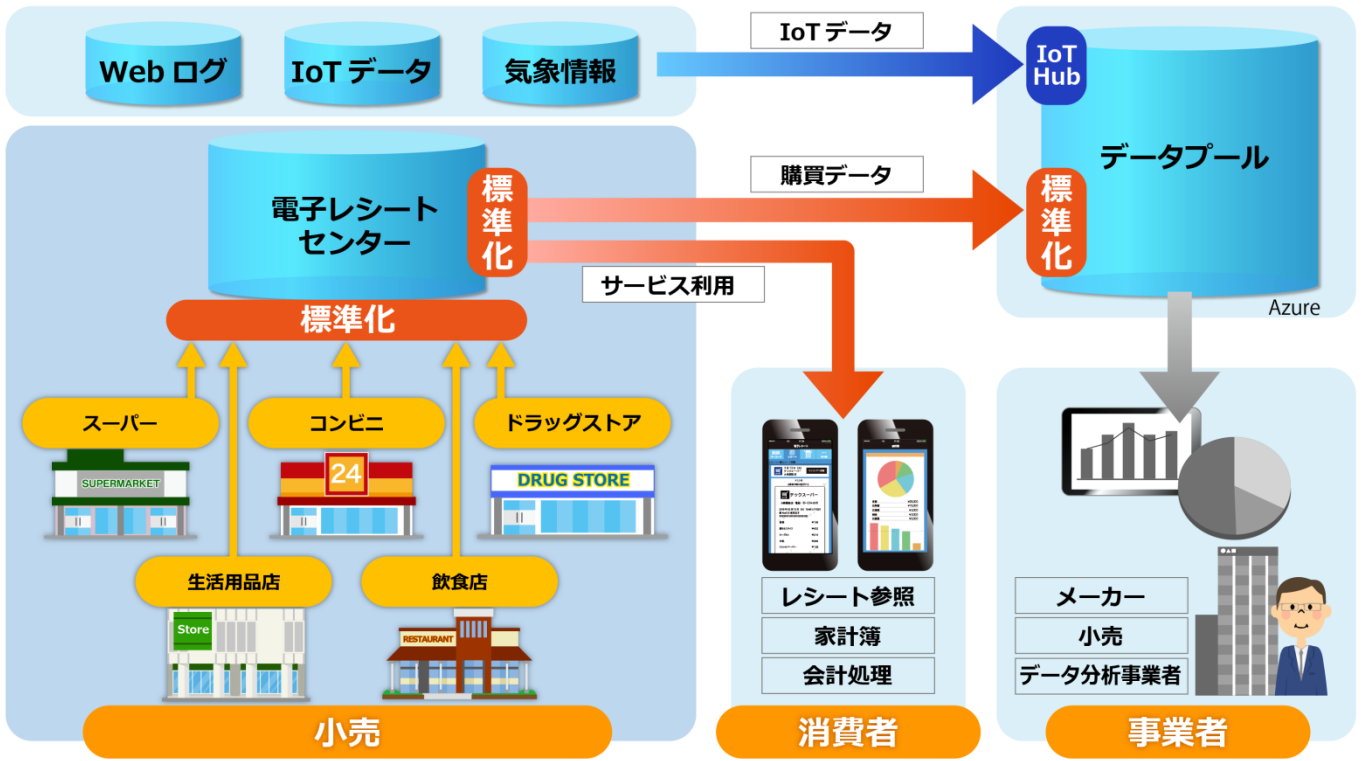
AEON



木を植えています

私たちはイオンです

[事業イメージ]



[実証実験店舗]



[スマートフォンの画面]



電子レシートアプリのダウンロードはこちらから



またはGooglePlay/AppStoreから

※Google Playでは、2018年2月1日よりダウンロードが可能となります